

2026年4月15日
東日本旅客鉄道株式会社

eラーニングコンテンツ「KeYing」(キーイング)の提供を通じて安全・生産性向上を支援

- JR 東日本グループは、グループ経営ビジョン「勇翔 2034」およびモビリティ中長期成長戦略「PRIDE & INTEGRITY」において、「究極の安全」を経営のトッププライオリティとして堅持しつつ、ライフスタイル・トランスフォーメーション (LX)の実現と持続可能な事業運営の確保に向けた取り組みを進めています。
- このたび、弊社建設工事が長年にわたり培ってきた鉄道工事に関する「安全教育」のノウハウを、eラーニングコンテンツ「KeYing」(キーイング)として、社外へ広く提供し、運輸業界全体における安全教育の充実、ICT化、生産性向上、働き方改革の「鍵」になりたいという想いを込めて支援してまいります。

1. 「KeYing」について

「KeYing」は、鉄道建設工事で磨いた高品質な安全教育を、各企業のニーズに合わせてeラーニングで実施するパッケージです。鉄道工事の現場では、人手不足や技術者の確保・育成が年々難しくなる一方、設備更新や安全対策の高度化が進み、必要な知識量は増え続けています。さらに、コロナ禍による集合研修の制約、講師不足、同一内容の繰り返しによる教育負荷といった課題も顕在化しました。

これらを背景に、場所や時間に縛られず、安定した品質で学べる環境の整備が不可欠となっています。

こうした鉄道工事教育の新しい形を実現するために、弊社はeラーニングによる教育・研修を社内でも開始し、2024年12月から社外に向けた建設ビジネスとして「KeYing」を立ち上げました。



2. 「KeYing」の特徴と実績

手間と費用のかかるコンテンツ動画の製作・配信から、煩雑な業務である受講者管理、テスト結果の集計、研修のフィードバックまでの一式を提供することが強みです。



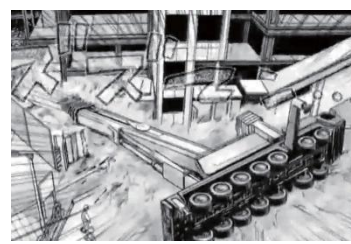
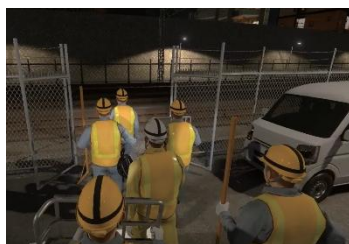
次回研修に向けたご提案も可能です

【特長】

オリジナルで高品質なコンテンツ

企業のニーズにあわせた、分かりやすく印象に残るオリジナルコンテンツを製作します。

コンテンツには、JR 東日本が保有する動画や VR 映像なども使用し、e ラーニングによりいつでも誰でも高品質な学びを得られます。



確実な学習定着

10 分程度のコンテンツと小テストを繰り返し、知識の定着と飽きのこない学習を実施します。

(株)プロシーズによる学習管理システム (LMS) を活用し、「顔認証システム」を導入することで、他人の受講防止や、受講中の居眠り、不在を検知した際の教材の自動一時停止など、不正防止を図り徹底した受講管理を実現します。



認証画面



他人の受講・居眠り防止

働き方改革・効率化への貢献

受講者が自由に受講場所・時間を選択できるため、講義受講のための移動時間が不要になるなど、大幅な時間効率化が実現します。研修運営サイドの生産性向上にもつながります。

【導入実績および展示会出展予定】

他 JR や民鉄などにおいて鉄道に関する省令教育、事故防止研修などに導入いただいております。



※試行導入中



5 月 20 日～22 日「建設・建築 DX EXPO2026」および 5 月 27 日～29 日「第 2 回鉄道技術展・大阪」に出展します。「鉄道技術展・大阪」では商談に向けた相談ブースも設置予定です。いずれもインテックス大阪での開催予定です。

本サービスに関する詳細は、二次元コードよりご覧ください。

また、お問い合わせにつきましては key@jreast.co.jp までご連絡ください。

